



おかげさまで
東証一部に市場変更いたしました

タチカワレポート

第70期 中間報告

平成27年 1 月 1 日

平成27年 6 月 30 日



家庭に、企業に、都市の中に。
 次代の生活文化を創造する、様々な事業を展開。
 インテリア産業の一翼を担う企業として、
 これからも時代を先駆ける活動を展開してまいります。

代表取締役社長 **立川光威**

平素は格別のご支援ご愛顧を賜り誠にありがたく厚く御礼申し上げます。

当社は、平成27年7月17日に東京証券取引所市場第二部より同市場第一部銘柄に指定されました。株主の皆様、お取引先様をはじめ、これまでお力添えを頂きました関係者の皆様のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

さて、当社は平成27年6月30日をもって第70期（平成27年1月1日から平成27年6月30日まで）上半期が終了致しましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。

今後とも株主の皆様の一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成27年 9月

CONTENTS 目次

経営者から皆様へ	1
営業の概況	2
セグメント別概況	3
当社グループの事業展開	4
Topics	5
New Products	6
連結財務諸表（要旨）	7
会社の概要	9
株式情報・ショールームのご案内	10
株式についてのご案内	

経営の基本方針

当社グループは、ブラインド類・間仕切類を事業の核とするインテリアメーカーとして、また、長年培ってきた歯車技術を活かした機械式立体駐車装置、減速機メーカーとして今日に至っております。

その時代の要請に応え、お客様の信頼を得ることを第一に、国内外の多様な要望に応えることのできる製品の研究開発・生産の充実と高品質なサービスの提供により、生活環境の改善を図り、皆様の期待に応えることを経営の基本方針としております。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、原油価格下落の影響や各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調が続きましたが、新興国の成長鈍化などの海外景気の下振れリスク等があり、先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループ関連の建設・住宅業界においては、住宅ローン減税などの各種政策が下支えとなり、住宅投資は緩やかな持ち直しの動きが見られましたが、消費増税に伴う駆け込み需要の反動の影響が長引いており、当社を取り巻く環境は厳しい状況でありました。

このような環境の下、室内外装品関連事業においては、新製品の市場浸透を促進するとともに、コスト低減活動や生産性の向上を継続し、収益改善に取り組んでまいりました。

また、駐車場装置関連事業においては、主力製品である「パズルタワー」に重点を置いた営業を図るとともに、コスト競争力の強化を推進し、収益改善に努めてまいりました。

減速機関連事業においては、保有技術を活かした製品開発に取り組むとともに、特殊製品による成長分野への積極的な提案営業を行い、顧客満足度の向上と受注獲得に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は19,035百万円（前年同期比4.4%減）、営業利益は1,246百万円（前年同期比21.2%減）、経常利益は1,292百万円（前年同期比19.0%減）、四半期純利益は670百万円（前年同期比22.3%減）となりました。

業績の見通し

今後の見通しにつきましては、各種経済政策の効果や雇用・所

得環境の改善等を背景に、景気の回復基調が続くことが期待されますが、当社グループ関連の建設・住宅業界におきましては、住宅着工の回復の遅れや資材価格の高騰が発生しており、先行き不透明感が続くものと予想されます。

このような環境の下、室内外装品関連事業におきましては、お客様の視点に立った新製品開発や営業活動、リフォーム需要の獲得強化、非住宅市場での拡販および収益力の強化に取り組むことで既存事業領域を深耕していくとともに、医療・介護施設や海外市場等、成長分野への取り組みを強化することで、さらなる売上拡大・収益確保に努めてまいります。駐車場装置関連事業におきましては、主力製品「パズルタワー」の物件獲得に注力し、付随する改造・改修、メンテナンス需要を獲得してまいります。減速機関連事業におきましては、当社が強みとする特殊減速機を中心に積極的な提案営業を展開してまいります。

これらを踏まえ、平成27年12月期の通期の連結業績予想につきましては、期初の予想の通り、売上高40,500百万円、営業利益2,500百万円、経常利益2,550百万円、当期純利益1,350百万円を見込んでおります。

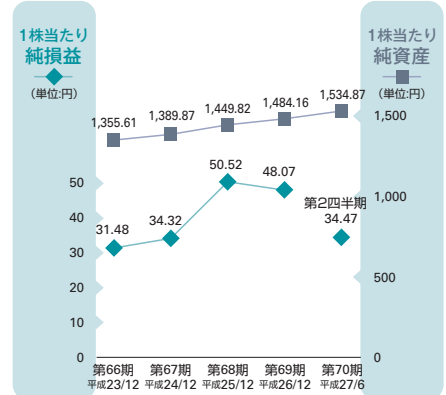
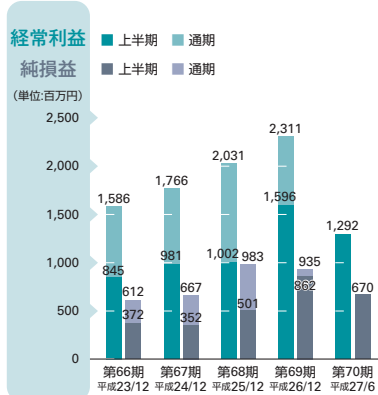
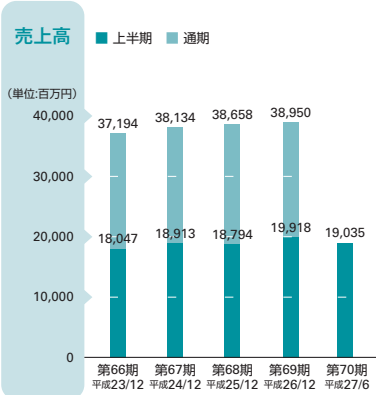
中間配当金について

中間配当につきましては、安定配当を維持する基本方針に沿って、例年通り1株につき5円とさせていただきます。

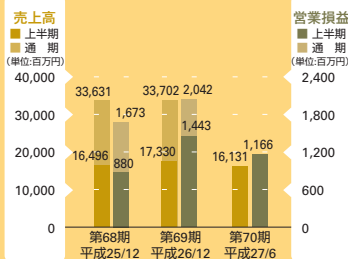
尚、期末配当につきましても同様に1株につき5円、年間10円の実施を現時点においては予定しております。

Financial Highlights

財務ハイライト



室内 外装品 関連事業



16,131百万円

顧客満足度の向上と市場の拡大を目指し、カスタマイズブラインド「フォレティア」（木製スラット）・「アフタービート」（アルミスラット）の新ラインナップとして、遮蔽性に優れた「フォレティアシェイディ」や操作コードを引くだけでブラインドが自動で降りる「フォレティアエグゼタッチ」や「アフタービートエグゼタッチ」を発売したほか、生地を降ろしたままでも採光、調光が可能なロールスクリーン「デュオレ」にコンパクトな納まりと高い遮蔽性の「デュオレスリム」を発売しました。また、オフィス・店舗・施設向けのヨコ型ブラインドにおいて、遮蔽性に優れた「モノコムシェイディ」（手動）と「ローリー-ESSシェイディタコスII」（電動）を発売したほか、装飾カーテンレールにおいても意匠性・機能性に優れた新ラインナップを拡充し、

積極的な新製品開発に努めるとともに、5月から全国25会場において新製品発表会を開催し、新製品等の早期浸透に取り組んでまいりました。

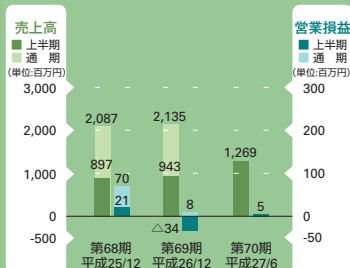
住宅市況は緩やかに回復しつつありますが、前年同期に増税前の駆け込み需要があり、売上高は16,131百万円（前年同期比6.9%減）となり、営業利益につきましては、コスト削減に努めたものの、売上高の減少により、1,166百万円（前年同期比19.2%減）となりました。

84.7%

連結セグメント別
売上高構成比
合計
19,035百万円

駐車場装置関連事業

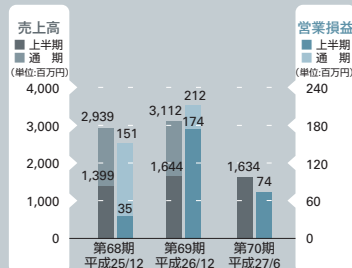
1,269百万円



主力製品である「パズルタワー」の新規着工が増加したことなどにより、売上高は1,269百万円（前年同期比34.5%増）となりました。営業利益につきましては、建設工事における資材価格や人件費高騰の影響などにより原価が上昇するなか、原価低減活動に取り組み、5百万円（前年同期は34百万円の損失）となりました。

減速機関連事業

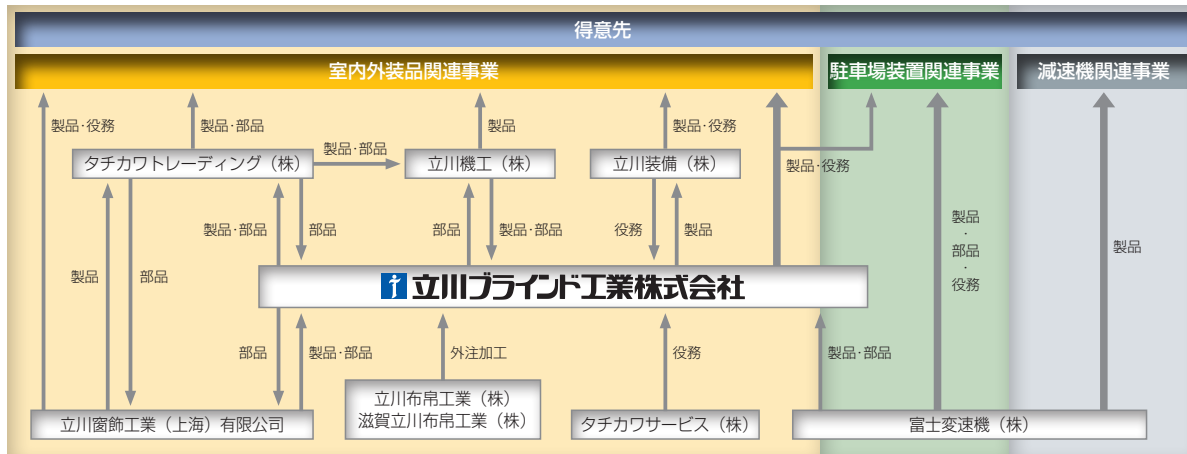
1,634百万円



国内における設備投資動向の持ち直しや、高効率ギヤードモータへの切替需要を背景に、積極的な営業を展開した結果、汎用減速機の受注は堅調に推移いたしました。シャッター開閉機関連製品の受注が伸び悩み、売上高は1,634百万円（前年同期比0.6%減）となりました。営業利益につきましては、継続的な原価低減活動に努めましたが、原材料価格の高騰などにより、74百万円（前年同期比57.1%減）となりました。

当社グループ（連結会社）は、当社および子会社8社で構成され、室内外装関連製品、機械式立体駐車装置等の製造販売およびそれらの設計施工を主な内容とし、さらに各事業に関連するサービス等の事業活動を展開しております。

■ 事業の系統図



(注) 富士変速機(株)は名古屋証券取引所に上場しております。

■ 主なグループ会社

立川機工株式会社	立川装備株式会社	富士変速機株式会社
本社所在地：千葉県山武市	本社所在地：東京都渋谷区	本社所在地：岐阜県岐阜市
資本金：3億円	資本金：3億円	資本金：25億750万円
事業内容：ブラインド、間仕切等の部品 およびカーテンレールの製造販売	事業内容：ブラインド、間仕切等の据付 および関連製品の販売	事業内容：変速機、減速機、立体駐車装置 および間仕切の製造販売

■ 中長期的な会社の経営戦略

当社グループでは、厳しい経営環境下においても安定した収益を計上できる事業体制の構築に向け、以下の項目を重点戦略としております。

- 1 既存事業領域の深耕**
当社グループの主要な収益源である室内外装関連事業において、お客様の視点に立った新製品開発や営業活動に注力し、リフォーム市場への取り組みや非住宅市場の収益力を強化し、既存事業領域を深耕する。
- 2 成長分野への取り組み強化**
中長期的な国内市場の縮小が見込まれるなか、高齢化社会の進展により拡大が見込まれる医療介護施設に加え、海外市場など成長分野への取り組みを強化する。
- 3 生産体制の強化**
減速機関連事業、駐車場装置関連事業においては、生産リードタイムの短縮や設計の標準化等に取り組み顧客対応力を高める。
- 4 経営資源の整備**
将来に亘り安定的な収益基盤を構築するため、事業拠点や生産設備といった経営資源を計画的に整備していくとともに、人材育成に注力する。

おかげさまで東証一部に市場変更いたしました。

平成27年7月17日、当社は東京証券取引所市場第二部より同市場第一部銘柄に指定されました。

これもひとえに、株主の皆様、お取引先の皆様をはじめ、これまでお力添えを頂いた多くの関係者の皆様の温かいご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

今後も、皆様方のご期待にお応えすべく、さらなる業容の拡大と企業価値の向上に努めてまいりますので、引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



株主様ご優待

株主の皆様の日頃のご支援にお応えするとともに、当社株式への投資の魅力を高めることを目的として、株主優待制度を実施しております。

当社の株式を300株以上ご所有いただきますと、年に1回所有株式数・保有期間に応じたクオカードを贈呈しております。

また、2014年6月末基準日より株主優待制度を拡充し、当社製品ご購入後に1台あたり2,000円分のクオカードを贈呈する優待制度を実施しております。

① オリジナルクオカードの贈呈（300株以上保有の株主様）

基準日：12月末日（年1回）

所有株式数・保有期間に応じて、オリジナルクオカードを以下の通り贈呈いたします。

所有株式数	保有期間	3年未満	3年以上
300株以上 500株未満		1,000円分	1,500円分
500株以上 1,000株未満		2,000円分	2,500円分
1,000株以上		3,000円分	4,000円分

② 当社対象製品ご購入優待（100株以上保有の株主様）

基準日：6月末日・12月末日（年2回）

当社製品をご購入いただいた株主の皆様へ所有株式数・購入台数に応じて、以下の通り贈呈いたします。

所有株式数	優待内容
100株以上 300株未満	当社製品購入1台まで、1台あたりクオカード2,000円分贈呈
300株以上 500株未満	当社製品購入2台まで、1台あたりクオカード2,000円分贈呈
500株以上 1,000株未満	当社製品購入3台まで、1台あたりクオカード2,000円分贈呈
1,000株以上	当社製品購入5台まで、1台あたりクオカード2,000円分贈呈

当社製品ご購入
1台あたり
クオカード
2,000円分
贈呈



【優待内容】クオカード（イメージ）

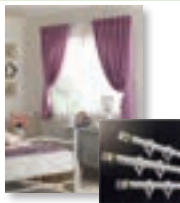


【優待内容】クオカード（イメージ）

New Products

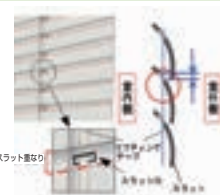
装飾カーテンレール4製品発売

意匠性・機能性に優れたリングランナー仕様の装飾カーテンレール「アルバーノ」、[ルナージュ]、[ソファレ]、[シユクレ]の4製品を発売し、さらに、新しいカーテンレールのデザインに合わせたカーテンアクセサリや新色「グレージュ」を追加、カーテンレールのパリエーションがさらに充実しました。



2月 「モノコムシェイディ」「ローリー-ESSシェイディタコスⅡ」発売 2月

オフィス・店舗・施設向けのヨコ型ブラインド「モノコム」、「ローリー-ESSタコスⅡ」の新たなラインナップとして、スラット穴からの光漏れを低減し、遮蔽性を向上させた「モノコムシェイディ」(手動)と「ローリー-ESSシェイディタコスⅡ」(電動)を、発売しました。



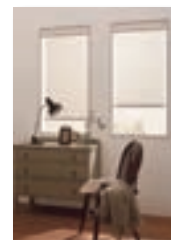
タテ型ブラインド「ラインドレープ」に『レールジョイント仕様』発売 5月

タテ型ブラインド「ラインドレープ」標準タイプに、幅5,800mmまで1台で製作できる『レールジョイント仕様』を新たに追加発売しました。製品幅が大きくてもレールを2分割にすることで搬入・施工が容易になり、従来は搬入上の制約で設置が難しかった高層マンションやビル、大開口窓のある住宅などに最適です。



ロールスクリーン「ラルク」に新たなオプションやラインナップが登場 5月

ロールスクリーン「ラルク」にすき間からの光漏れを低減させる、デザイン性の高いオプションと新ラインナップを追加発売しました。部屋内から見えるサッシのフレームがスリム化している昨今の住宅トレンドを踏まえ、ロールスクリーンを窓枠内に納めて天井付けした場合に、すき間からの直射光を防ぎ高い遮光性とデザイン性を実現しました。



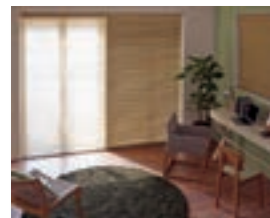
ロールスクリーン『デュオレスリム』発売 6月

生地を降ろしたままでも採光が可能で、光の量を調節できる新感覚のロールスクリーン「デュオレ」に1本の巻き取りパイプでコンパクトな納まりと高い遮蔽性の「デュオレスリム」を発売。小窓やハイサイドライトなど開口の小さな窓にも枠内付けですっきり納まる新ラインナップです。



『フォレティアシェイディ』など4製品を発売 6月

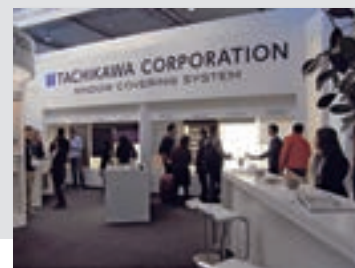
カスタマイズブラインド「フォレティア」(木製スラット)・「アフタービート」(アルミスラット)の新ラインナップとして、スラット穴からの光漏れを低減した『フォレティアシェイディ』、操作コードを引くだけでブラインドが自動で降りる『フォレティアエグゼタッチ』、『フォレティアシェイディタッチ』、『アフタービートエグゼタッチ』を発売しました。住宅から店舗・商業施設まで用途にあわせて選べ、遮蔽性・操作性に優れたパリエーションとなりました。



Topics

○「R+T 2015」に出展(2月)

2月24日～28日の5日間、ドイツ・シュツットガルトで開催された世界最大級のシャッター・ブラインド国際見本市「R+T 2015」に出展。意匠性に優れたファブリックや各製品で展開するワンチェーン操作、安全対策を施した部品などを紹介し、窓まわり総合メーカーとしてのブランドイメージをアピールしました。



連結財務諸表（要旨）

総資産

総資産は46,432百万円で、前連結会計年度末と比較し553百万円の減少。

流動資産は639百万円減少。主に、たな卸資産が増加した一方で、現金及び預金、受取手形及び売掛金が減少したことによるものです。

固定資産は85百万円の増加。主に、長期繰延税金資産が減少した一方で、保有株式の時価の上昇等により投資有価証券が増加したことによるものです。

負債

負債は12,331百万円で、前連結会計年度末と比較し1,600百万円の減少。主に、支払手形及び買掛金、未払金、未払法人税等および退職給付に係る負債が減少したことによるものです。

純資産

純資産は34,100百万円で、前連結会計年度末と比較し1,047百万円の増加。主に、その他有価証券評価差額金が増加したこと、利益剰余金が四半期純利益の計上により増加したことによるものです。なお、自己資本比率は64.3%と、前連結会計年度末と比較し、2.8ポイントの増加。

キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ659百万円減少し、8,870百万円。

【営業活動】

40百万円の減少。税金等調整前四半期純利益1,291百万円に対し、減価償却費433百万円、売上債権の減少額466百万円等による増加があった一方で、法人税等の支払額698百万円、たな卸資産の増加額532百万円、未払金や未払消費税等を含むその他の減少額674百万円等による減少があったことによるものです。

【投資活動】

458百万円の減少。有形固定資産の取得による支出443百万円、無形固定資産の取得による支出22百万円等があったことによるものです。

【財務活動】

165百万円の減少。リース債務の返済による支出45百万円、配当金の支払い119百万円等によるものです。

>> 連結貸借対照表

（単位：千円） （単位：百万円）

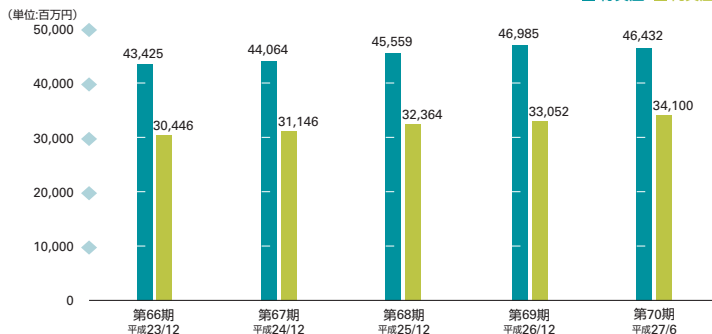
科目	当第2四半期 平成27年6月30日現在	前 期 平成26年12月31日現在	増減（△）
資産の部			
流動資産	28,666,143	29,305,415	△ 639
固定資産	17,765,949	17,680,067	85
資産合計	46,432,092	46,985,482	△ 553
負債の部			
流動負債	9,087,839	10,287,935	△ 1,200
固定負債	3,244,134	3,644,979	△ 400
負債合計	12,331,973	13,932,915	△ 1,600
純資産の部			
株主資本	29,253,981	28,583,081	670
資本金	4,475,000	4,475,000	—
資本剰余金	4,395,000	4,395,000	—
利益剰余金	21,051,256	20,380,062	671
自己株式	△ 667,274	△ 666,980	△ 0
その他の包括利益累計額	616,404	301,018	315
少数株主持分	4,229,731	4,168,466	61
純資産合計	34,100,118	33,052,567	1,047
負債・純資産合計	46,432,092	46,985,482	△ 553

>> 連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

科目	当第2四半期 平成27年1月1日から 平成27年6月30日まで	前第2四半期 平成26年1月1日から 平成26年6月30日まで	前 期 平成26年1月1日から 平成26年12月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 40,553	574,038	1,681,551
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 458,330	△ 345,667	△ 818,477
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 165,889	△ 165,870	△ 331,592
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,894	△ 13,134	33,599
現金及び現金同等物の増減額（△減少額）	△ 659,878	49,366	565,081
現金及び現金同等物の期首残高	9,530,378	8,965,297	8,965,297
現金及び現金同等物の四半期末（期末）残高	8,870,500	9,014,663	9,530,378

>> 総資産／純資産



>> 連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当第2四半期 平成27年1月1日から 平成27年6月30日まで	前第2四半期 平成26年1月1日から 平成26年6月30日まで	前期 平成26年1月1日から 平成26年12月31日まで
売上高	19,035,755	19,918,344	38,950,888
(前年同期比)	(△ 4.4%)	(6.0%)	(0.8%)
売上原価	11,045,244	11,312,466	22,543,002
売上総利益	7,990,510	8,605,878	16,407,885
販売費及び一般管理費	6,743,740	7,023,354	14,144,757
営業利益	1,246,770	1,582,524	2,263,127
(前年同期比)	(△ 21.2%)	(68.7%)	(19.4%)
営業外収益	118,972	82,563	223,570
営業外費用	73,016	68,952	174,820
経常利益	1,292,725	1,596,134	2,311,877
特別利益	—	339	539
特別損失	1,706	1,770	363,886
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,291,019	1,594,704	1,948,531
法人税、住民税及び事業税	324,149	554,458	1,076,508
法人税等調整額	270,653	133,007	△ 136,066
少数株主損益調整前四半期(当期)純利益	696,215	907,238	1,008,089
少数株主利益	25,390	44,333	72,605
四半期(当期)純利益	670,825	862,904	935,483

>> セグメント情報

(単位：千円)

当第2四半期 平成27年1月1日から平成27年6月30日まで	室内外装品関連事業	駐車場装置関連事業	減速機関連事業
売上高	16,131,500	1,269,351	1,634,903
(前年同期比)	(△ 6.9%)	(34.5%)	(△ 0.6%)
営業利益	1,166,061	5,959	74,749
(前年同期比)	(△ 19.2%)	(—)	(△ 57.1%)

■ 営業成績の概要

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、原油価格下落の影響や各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調が続きましたが、新興国の成長鈍化などの海外景気の下振れリスク等があり、先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループ関連の建設・住宅業界においては、住宅ローン減税などの各種政策が下支えとなり、住宅投資は緩やかな持ち直しの動きが見られましたが、消費増税に伴う駆け込み需要の反動の影響が長引いており、当社を取り巻く環境は厳しい状況でありました。

このような環境の下、室内外装品関連事業においては、新製品の市場浸透を促進するとともに、コスト低減活動や生産性の向上を継続し、収益改善に取り組んでまいりました。

また、駐車場装置関連事業においては、主力製品である「パズルタワー」に重点を置いた営業を図るとともに、コスト競争力の強化を推進し、収益改善に努めてまいりました。

減速機関連事業においては、保有技術を活かした製品開発に取り組みとともに、特殊製品による成長分野への積極的な提案営業を行い、顧客満足度の向上と受注獲得に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は19,035百万円(前年同期比4.4%減)、営業利益は1,246百万円(前年同期比21.2%減)、経常利益は1,292百万円(前年同期比19.0%減)、四半期純利益は670百万円(前年同期比22.3%減)となりました。

■ 会社の概要

社名	立川ブラインド工業株式会社
英文社名	TACHIKAWA CORPORATION
創業	昭和13年5月
設立	昭和22年10月
資本金	44億7,500万円
国土交通大臣許可	内装仕上工事業（般-22）第5037号 建具工事業（般-22）第5037号 機械器具設置工事業（般-22）第5037号 建築工事業（特-22）第5037号
上場取引所	東京証券取引所 市場第1部
証券コード	7989
本社所在地	東京都港区三田三丁目1番12号
電話	(03) 5484-6140
ホームページアドレス	http://www.blind.co.jp
従業員数	連結1,210名 単体784名 ※パート・契約社員等を除く

■ 営業品目

区分	品目の内容
ブラインド類	ベネシャン（横型）ブラインド、 パーチカル（縦型）ブラインド、 天窓用ブラインド、ロールスクリーン等
間仕切類	アコーディオン式間仕切、パネル式間仕切
その他	カーテンレール、製品取付、その他

■ 連結会社

国内	
富士変速機株式会社 岐阜県岐阜市中洲町18	タチカワトレーディング株式会社 東京都港区三田3-1-12
立川機工株式会社 千葉県山武市松ヶ谷口2687	タチカワサービス株式会社 東京都港区三田3-1-12
立川装備株式会社 東京都渋谷区代々木2-16-4	
立川布帛工業株式会社 新潟県五泉市今泉709-1	
滋賀立川布帛工業株式会社 滋賀県愛知郡愛荘町東円堂923-1	立川窗飾工業（上海）有限公司 上海市嘉定区葉城路1630号

海外

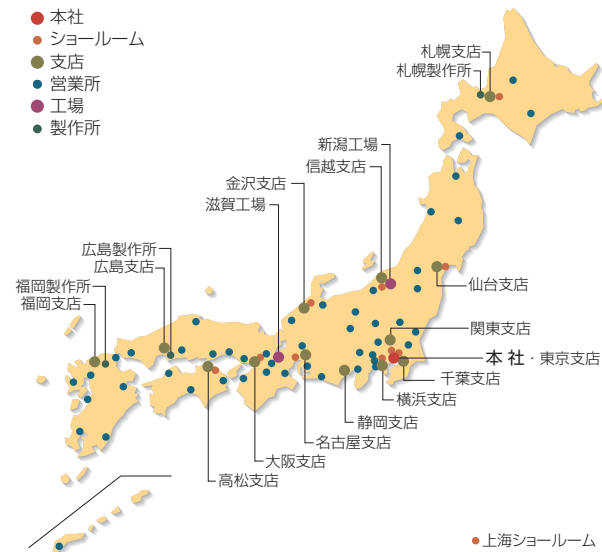
■ 取締役および監査役

代表取締役社長	立川 光 威
取締役	竹中 伸 也
取締役	金箱 聡
取締役	八角 和
取締役	山本 浩 司
取締役	成瀬 義 弘
取締役	坪井 節 子 ※1
常勤監査役	河原 隆
監査役	高橋 勇 三 ※2
監査役	杉原 麗 ※2

(注) ※1 取締役のうち坪井節子氏は社外取締役であります。

※2 監査役のうち高橋勇三および杉原麗の両氏は、社外監査役であります。

■ 当社ネットワーク



■ 株式の状況

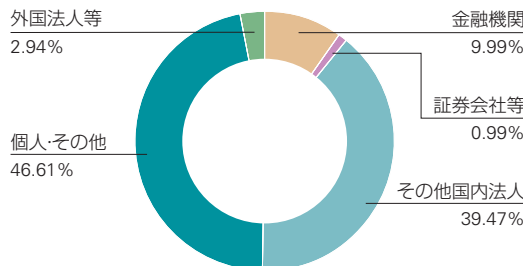
発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式の総数	20,763,600株
株主数	7,410名

大株主および持株数(上位10名)

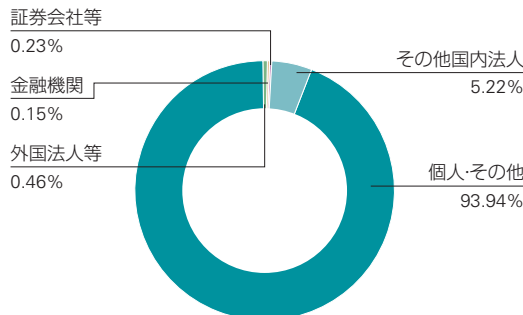
株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
有限会社立川恒産	4,117	21.20
タチカワプラインド取引先持株会	2,109	10.86
更生保護法人立川更生保護財団	1,331	6.85
株式会社三菱東京UFJ銀行	553	2.85
タチカワ社員持株会	479	2.47
立川 光威	468	2.41
株式会社りそな銀行	460	2.37
立川 溥	455	2.35
日本生命保険相互会社	373	1.92
UBS AG LONDON A/C IPB SEGREGATED CLIENT ACCOUNT	367	1.89

(注) 1. 千株未満は切り捨てて表示しております。
 (注) 2. 当社は自己株式1,302千株を保有しておりますが、上記の表には記載していません。

■ 所有者別持株比率



■ 所有者別株主比率



ショールームのご案内

G I N Z A

銀座

タチカワショールーム



タチカワ銀座ショールームでは、お客様にご満足頂けるよう、豊富なインテリアの知識をもったスタッフが、新製品の紹介をはじめ新しいコーディネート提案など、窓辺に限らずインテリアのいろいろなお可能性をお伝えしています。ご相談の予約は下記で承っておりますので、お気軽にお電話下さい。



〒104-0061 東京都中央区銀座8-8-15 青柳ビル
 TEL (03) 3571-1373
 定休日 月曜・祝祭日(土・日曜除く) 営業時間 10:00~18:00
 JR・銀座線新橋駅より徒歩5分 銀座4丁目交差点より徒歩8分

ショールーム一覧

新宿ショールーム	東京都渋谷区代々木2-16-4 タチカワ新宿ビル1F TEL (03) 3375-7071 定休日 水曜・祝日(土日除く) 営業時間 10:00~18:00
仙台ショールーム	宮城県仙台市青葉区宮町5-1-12 TEL (022) 275-1311 定休日 土曜・日曜・祝祭日 営業時間 10:00~17:00
金沢ショールーム	石川県金沢市東力4-181 TEL (076) 291-1146 定休日 土曜・日曜・祝祭日 営業時間 10:00~18:00
名古屋ショールーム	愛知県名古屋市中区丸玉3-4-4 3F TEL (052) 532-5085 定休日 土曜・日曜・祝祭日 営業時間 9:00~17:30
大阪ショールーム	大阪府大阪市北区中津2-3-5 2F TEL (06) 6374-1813 定休日 土曜・日曜・祝祭日 営業時間 10:00~17:30
高松ショールーム	香川県高松市木太町六区2662-1 TEL (087) 837-2720 定休日 土曜・日曜・祝祭日 営業時間 10:00~18:00
上海ショールーム	上海市徐匯区宜山路290号 TEL +86-21-5396-8803
札幌ディスプレイスペース	北海道札幌市中央区南3西12-325-3 タチカワプラインド札幌支店3F (展示品に制限があります) 定休日 土曜・日曜・祝祭日 営業時間 10:00~17:00
信越ディスプレイスペース	新潟県新潟市東区大形本町1-2-23 TEL (025) 270-8111 (展示品に制限があります) 定休日 土曜・日曜・祝祭日 営業時間 10:00~17:00
横浜ディスプレイスペース	神奈川県横浜市中区大通15 2F TEL (045) 662-0838 (展示品に制限があります) 定休日 土曜・日曜・祝祭日 営業時間 10:00~17:30

当社ホームページでは決算短
信などのIR情報や、当社事業
や製品・サービスなどさまざ
まな情報を発信しております。

<http://www.blind.co.jp>



株主優待のご案内



[優待内容] クオカード (イメージ)



1 オリジナルクオカードの贈呈 (300株以上保有の株主様)

基準日: 12月末日 (年1回)

所有株式数・保有期間に応じて、オリジナルクオカードを以下の通り贈呈いたします。

所有株式数	保有期間	
	3年未満	3年以上
300株以上 500株未満	1,000円分	1,500円分
500株以上 1,000株未満	2,000円分	2,500円分
1,000株以上	3,000円分	4,000円分

2 当社対象製品ご購入優待 (100株以上保有の株主様)

基準日: 6月末日・12月末日 (年2回)

当社製品購入いただいた株主の皆様へ所有株式数・購入台数に応じて、以下の通り贈呈いたします。

所有株式数	優待内容
100株以上 300株未満	当社製品購入1台まで、1台あたりクオカード 2,000円分贈呈
300株以上 500株未満	当社製品購入2台まで、1台あたりクオカード 2,000円分贈呈
500株以上 1,000株未満	当社製品購入3台まで、1台あたりクオカード 2,000円分贈呈
1,000株以上	当社製品購入5台まで、1台あたりクオカード 2,000円分贈呈

事業年度 1月1日～12月31日

定時株主総会 毎年3月

定時株主総会基準日 12月31日

剰余金配当基準日 12月31日 (期末配当)
6月30日 (中間配当)

公告方法 電子公告によります。
公告掲載URL

<http://www.blind.co.jp/koukoku/>

※事故その他のやむを得ない場合は、日本経済新聞に掲載いた
します。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 証券代行部

特別口座管理機関 日本証券代行株式会社

単元株式数 100株

登録情報 (ご住所、配当金振込先など) の変更、その他諸手続きについて

一般口座の株主さまは、お取引口座のある証券会社にてお取扱いしております。
特別口座の株主さまは、特別口座管理機関 日本証券代行(株)へお問い合わせ下さい。

配当金の受取りについて

配当金領収証をお近くのゆうちょ銀行または郵便局へお持ち下さい。
また今後、銀行振込をご希望の方は、お取引口座のある証券会社等または特別口座管
理機関 日本証券代行(株)へお問い合わせ下さい。

未受領の配当金の受取りについて

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行(株) 証券代行部までお問い合わせ下さい。

単元未満株式 (100株未満の株式) の買取・買増請求について

一般口座の株主さまは、お取引口座のある証券会社にてお取扱いしております。
特別口座の株主さまは、特別口座管理機関 日本証券代行(株)へお問い合わせ下さい。

特別口座から一般口座への株式振替のお願い

特別口座管理機関 日本証券代行(株)へお問い合わせ下さい。

注)特別口座のままでは市場において株式を売却することはできませんので、必ず証
券会社に一般口座を開設 (既に開設されている場合不要) し、特別口座から一般
口座へ振替申請を行って下さい。

>> 郵便物送付先・お問い合わせ先

株主名簿管理人	特別口座管理機関
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-232-711 (フリーダイヤル) ホームページアドレス http://www.tr.mufg.jp/daikou/	〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 ☎ 0120-707-843 (フリーダイヤル) ホームページアドレス http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html